

An Introduction to Historical Material entitled  
"Koyadaishi Gyojo Zue" (The Illustrated  
Biography of the Priest, Koyadaishi) which is on  
display in Hoshuji Temple

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/41257">http://hdl.handle.net/2297/41257</a>

## 史料紹介 宝集寺所蔵「高野大師行状図画」

黒田 智<sup>1\*</sup>・鳥谷武史<sup>2</sup>・吉岡由哲<sup>3</sup>・石垣孝芳<sup>3</sup>・林 亮太<sup>2</sup>・小早川裕悟<sup>2</sup>

2014年9月26日受付, Received 26 September 2014

2014年11月10日受理, Accepted 10 November 2014

### An Introduction to Historical Material entitled “Koyadaishi Gyojo Zue” (The Illustrated Biography of the Priest, Koyadaishi) which is on display in Hoshuji Temple

Satoshi KURODA<sup>1</sup>, Takefumi TORITANI<sup>2</sup>, Yoshiaki YOSHIOKA<sup>3</sup>, Takayoshi ISHIGAKI<sup>3</sup>,  
Ryota HAYASHI<sup>2</sup> and Yugo KOBAYAKAWA<sup>2</sup>

#### Abstract

“Koya-Daishi Gyojo Zue”, which is on display in Hoshuji Temple in Kanazawa city, Ishikawa is a picture scroll illustrating the life of Koya-Daishi (also known as Kobo-Daishi). The Hoshuji copy is a reproduction created in 1506 by Koen, a priest from Zokoin, which was located in Okachinumadate, in historical Dewa province (present day Yamagata and Akita Prefectures). The scroll has links to Gobokyochibo, which is located in Isshin’indani in Koyasan, a famous monastic center. It is a valuable material with which scholars can trace the faith in Kobo-Daishi as well as the activities of Koyahijiri in the Japanese countryside.

**Key Words:** Kobodaishi (Kukai), a picture scroll, Hoshuji Temple in Kanazawa city, the third year of Eisho, Koyahijiri

キーワード: 弘法大師(空海), 絵巻物, 金沢宝集寺, 永正3年, 高野聖

いわゆる弘法大師伝絵巻と総称される絵巻群は、弘法大師空海の生涯を絵巻物形式にまとめたものであり、すでに塩出貴美子氏、鹿島繭氏、辻英子氏らによって諸本の系統分析が行なわれてきた。本稿では、石川県金沢市の宝集寺に所蔵される紙本著色「高野大師行状図画」を紹介する。

同絵巻を所蔵する俱利伽羅山宝集寺は、金沢市寺

町にある真言宗寺院である。寛永20年(1643)に河北郡俱利伽羅山長楽寺の住僧弘誉上人が中興開山となって再興されたと伝えられ、同寺の下山仏を多く所蔵する。また「金沢古蹟志」によれば、承応元年(1652)に津田重久の孫伊織が堀川讃岐町に母の位牌所を建立し、のち正徳4年(1714)に現在地に移転したという。10代藩主前田重教のころから前田家の

<sup>1</sup>金沢大学人間社会研究域学校教育系 〒920-1192 石川県金沢市角間町 (Faculty of Education, Institute of Human and Social Sciences, Kanazawa University, Kakuma-machi, Kanazawa, 920-1192 Japan)

<sup>2</sup>金沢大学大学院人間社会環境研究科博士後期課程 〒920-1192 石川県金沢市角間町 (Graduate School of Human and Socio-Environmental Studies, Kanazawa University, Kakuma-machi, Kanazawa, 920-1192 Japan)

<sup>3</sup>金沢大学大学院教育学研究科修士課程, 〒920-1192 石川県金沢市角間町 (Graduate School of Education, Kanazawa University, Kakuma-machi, Kanazawa, 920-1192 Japan)

\*連絡著者 (Author for correspondence)

祈願寺となり、現在の堂舎は12代齊広の産母である貞淋院の発願により建立された。

宝集寺本は、全10巻のうち巻5を欠くものの、はなはだしい欠損や錯簡は存在しない。ただし、他巻では51cm前後の料紙を継いでいる一方で、巻4の料紙のみ、紙長が一定しない。この巻4の奥には、「元応元年（己未）八月日」の日付とともに、絵師、詞書筆者の一覧があり、もと高野山惣持院にあった原本や白鶴美術館本との直接の関係をうかがわせるものの、宝集寺本の詞書は、むしろ親王院本、大蔵寺本、岡寺本に共通する部分が多い。とりわけ大蔵寺本は、宝集寺本の成立に近い延徳3年（1491）の奥書を有しており、15世紀末から16世紀初頭にかけての高野山における転写作業では、このグループに近い詞書が主として用いられたことを推測させる。

絵画に注目すると、宝集寺本には4つの特徴が挙げられる。第1に、人物をやや大きくクローズアップした視点で描いている。この点は延暦寺本にも共通しており、宝集寺本を延暦寺本の系統に位置付ける鹿島氏の分類を裏付けるものといえよう。また第2に、人物や背景の間隔が密になっているため、全体を圧縮したような印象を受ける。このように余白が狭くとられる要因としては、あらかじめ記された詞書によって紙面が制約されていた可能性が挙げられる。第3に、建築部材の遮蔽関係や設置方向などに誤りが多く、人物や草木に比して、立体的構造物の表現が非常に稚拙である。そして第4に、唐絵風の特徴が認められる。背景の草木は輪郭線を基調として描かれており、とりわけ巻1の「四天執蓋事」に描かれる子供たちは、まさに唐絵のそれというべき姿である。

宝集寺本の制作経緯は、巻1および巻10の奥書によって知ることができる。これによれば、永正3年（1506）に出羽雄勝沼館蔵光院の住侶であった28歳の弘演なる僧が、乞食生活をふくむ長い旅のはてに高野山一心院谷の五坊経智坊において模写した。ほどなくして弘演は帰郷し、残された経智坊の永舜房成快が詞書を完成させたという。ただし、巻1「大瀧嶽事」の題字に、前段から続く絵の胡粉がかかることから、弘演の高野山滞在中に、詞書の筆写も開始されたと考えられる。

見返しに「寂静院」の書付けがあることから、制作後しばらくは寂静院の什物として経智坊に所蔵されたのであろう。また、鎌倉時代中期から末ころ

の寂静院が仁和寺系統の寺院であったとの指摘もあり、元応元年（1319）の年紀を持つ巻4奥書に挙げられた複数の仁和寺関係者と合わせて、弘法大師伝絵巻の制作契機に仁和寺が関わっていたことをうかがわせる。

はるばる出羽雄勝沼館より来たという弘演なる若僧の詳細は不明であるが、宝集寺本の制作された16世紀初頭に、時を同じくして、小野寺氏が同地へ拠点を移している。この小野寺氏に関して、大永年間のころに、小野寺中宮亮なる者が京都扶持衆として上洛して洛外の旅宿にて病死し、石清水八幡社僧の娘との間に生まれたその子息四郎丸が足利義晴の近習として仕えたという異説がある。また、小野寺氏当主の上洛中に出羽稲庭城の留守役をつとめた稲庭道俊は、大永5年（1525）に熊野三所の本地仏をあらわした3面の懸仏を造立している。当時の小野寺氏と中央との関係や、その篤い熊野信仰をうかがい知ることができよう。

また一心院は、覚鑿の念仏の師であった明寂を開基とする院家で、五室聖へと発展する高野聖たちの活発な活動の舞台であった。16世紀の高野聖たちは、高野山内で弘法大師絵巻を書写し、弘法大師伝絵巻を地方へ伝播する役割を担っていた。宝集寺本は、地方の弘法大師信仰と高野聖の足跡をたどる貴重な史料といえよう。

## 文 献

- 塩出貴美子、1997：弘法大師伝絵巻考 - 諸本の分類と概要 - . 文化財學報, 15, 31-46.
- 鹿島 蘭, 1994：弘法大師伝絵巻 - 十巻本について. MUSEUM, 514, 24-35.
- 辻 英子編, 2005：高野大師行状図画. 親王院堯榮文庫, 高野町, 318p.
- 山陰加春夫, 2007：高野の聖たち - 高野山一心院谷の場合 - . 密教文化, 218, 27-82.
- 遠藤 巖, 1988：戦国大名小野寺氏 - 植道・輝道関連史料の検討 - . 秋大史学, 34, 1-20.
- 東北歴史博物館, 2006：特別展示展図録「熊野信仰と東北」. 東北歴史博物館.
- 横手市編, 2008：横手市史 通史編 原始・古代・中世. 横手市, 671p.

表1 「高野大師行状図画」法量表 (単位: cm).

Table 1 Sizes of "Koyadaishi Gyojo Zue" (unit: cm).

	第1巻		第2巻		第3巻		第4巻		第5巻		
見返し	24.0		24.0		24.5		22.7				
1紙	49.5	序文	50.4	詞1、絵1	49.4	詞1	50.2	詞1			
2紙	51.4	序文	51.5	絵1	50.1	詞1	35.0	詞1			
3紙	51.1	序文、詞1	50.1	絵1	50.1	絵1	41.9	絵1			
4紙	51.4	絵1	51.5	絵1、詞2	51.6	絵1	16.7	詞2			
5紙	51.3	絵1	51.3	詞2、絵2	51.6	絵1	19.8	詞2			
6紙	51.4	絵1、詞2	51.5	絵2	51.6	絵1	9.0	絵2			
7紙	51.2	詞2、絵2	51.6	絵2	51.6	絵1、詞2	51.8	絵2、詞3			
8紙	51.3	詞2、詞3	51.5	絵2、詞3、絵3	51.6	詞2	51.7	詞3、絵3			
9紙	51.4	詞3、絵3	51.7	絵3	51.6	詞2、絵2	11.2	絵3			
10紙	51.5	絵3、詞4	51.8	絵3、詞4、絵4	51.6	絵2	31.7	詞4			
11紙	51.1	絵4	51.9	絵4	51.7	絵2、詞3、絵3	30.9	詞4			
12紙	51.3	詞5、絵5	51.8	絵4、詞5	52.0	絵3	40.1	絵4			
13紙	51.4	絵5	51.6	詞5、絵5	51.8	絵3、詞4、絵4	20.0	詞5			
14紙	51.2	絵5、詞6	51.8	絵5	51.0	絵4	41.3	詞5			
15紙	51.2	詞6、絵6	51.6	絵5、詞6	51.8	詞5	51.9	絵5		欠巻	
16紙	51.2	絵6	52.0	絵6	51.8	絵5、詞6	28.2	絵5			
17紙	51.5	詞7、絵7	51.7	絵6	51.8	詞6	10.0	詞6			
18紙	51.5	詞8、絵8	51.8	絵6	51.8	詞6	51.8	詞6			
19紙	51.2	絵8、詞9、絵9	51.8	絵6、詞7	51.8	詞6	23.3	絵6			
20紙	51.2	絵9、詞10、絵10	51.6	絵7	51.7	詞6、絵6	52.2	絵6、詞7			
21紙	51.3	絵10	52.0	絵7	51.8	絵6	51.8	詞7、絵7			
22紙	51.4	詞11、絵11	51.8	絵7、詞8	51.6	絵6、詞7	51.9	絵7			
23紙	50.8	絵11	47.8	絵8	51.6	詞7、絵7	23.6	絵7			
24紙	41.0	絵11、奥書	42.5	絵8	51.7	絵7、詞8、絵8	27.0	詞8			
25紙					51.7	絵8	27.4	絵8			
26紙					51.7	絵8	51.7	絵8			
27紙					51.6	絵8、詞9、絵9	51.6	奥書			
28紙					51.6	絵9					
29紙					51.3	絵9					
30紙					45.2	絵9					
計	1242.8		1248.6		1562.3		976.4				

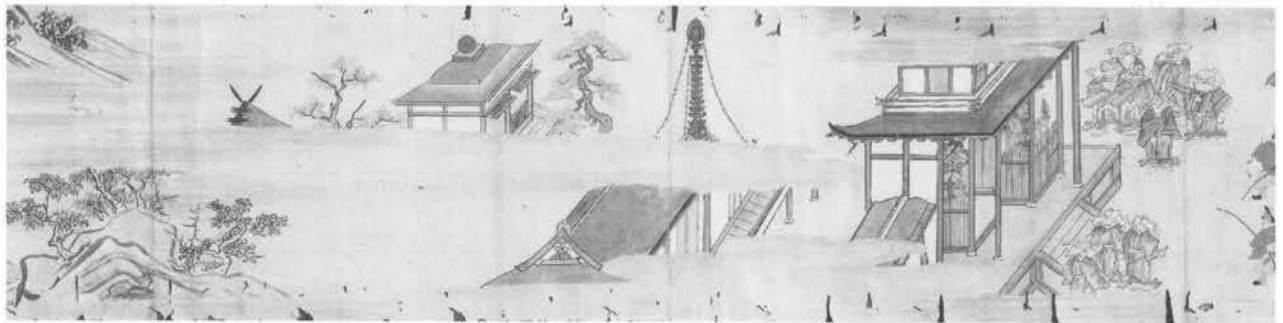
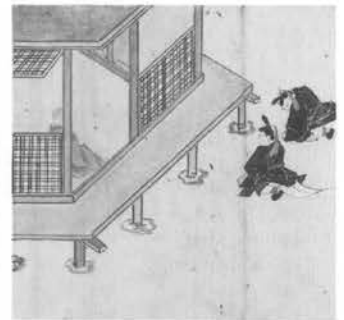
	第6巻		第7巻		第8巻		第9巻		第10巻	
見返し	23.7		23.9		23.4		23.7		24.0	
1紙	50.0	詞1	16.8		48.5	詞1	50.6	詞1	11.7	詞1
2紙	51.7	詞1、絵1	51.7	詞1、絵1	51.8	詞1	51.9	詞1	51.6	詞1、絵1
3紙	51.8	絵1、詞2、絵2	52.0	絵1、詞2	51.7	詞1	52.5	詞1	51.6	絵1、詞2
4紙	51.4	絵2、詞3、絵3	51.4	詞2、絵2	51.3	詞1、絵1	51.8	詞1、絵1	51.7	詞2、絵2、詞3
5紙	51.5	絵3、詞4、絵4	51.8	絵2、詞3	51.8	絵1	52.0	絵1、詞2、絵2	51.2	詞3、絵3、詞4
6紙	51.8	絵4、詞5、絵5	51.8	詞3、絵3	52.3	絵1、詞2、絵2	51.5	絵2、詞3	52.0	詞4、絵4
7紙	51.8	絵5、詞6	51.8	絵3、詞4、絵4、詞5	51.9	絵2、詞3	52.1	詞3	52.1	絵4
8紙	51.3	詞6、絵6	51.0	詞5、絵5	51.8	詞3	52.1	詞3、絵3	51.6	絵4、詞5、絵5
9紙	51.2	詞7、絵7	51.4	絵5	51.7	詞3、絵3	51.8	絵3	51.9	絵5、詞6
10紙	51.6	絵7、詞8、絵8	51.6	絵5、詞6	51.6	絵3、詞4	51.9	絵3	51.8	詞6
11紙	51.2	絵8、詞9	51.6	詞6、絵6	52.2	詞4、絵4	52.0	絵3	52.0	詞6
12紙	51.6	詞9、絵9、詞10	51.6	絵6	51.7	絵4、詞5、絵5	52.2	絵3、詞4、絵4	52.0	詞6、絵6
13紙	51.5	絵10、詞11	51.7	絵6	51.7	絵5、詞6	51.8	絵4、詞5	51.8	絵6
14紙	51.5	詞11、絵11、詞12	51.6	絵6	52.0	詞6、絵6	52.1	詞5、絵5	51.6	絵6
15紙	51.5	絵12	51.7	絵6	51.9	絵6、詞7	52.1	絵5、詞6、絵6	51.8	絵6
16紙	21.5	絵12	51.7	絵6	51.8	詞7、絵7	51.8	絵6、詞7	51.5	絵6
17紙			51.7	絵6、詞7、絵7	51.9	絵7	51.6	詞7、絵7	51.9	絵6
18紙			51.7	絵7、詞8	52.0	白紙	51.5	絵7	52.3	絵6
19紙			51.9	詞8、絵8			29.7	絵7	52.1	絵6
20紙			51.6	絵8、詞9					51.9	絵6
21紙			52.1	詞9、絵9					52.5	絵6
22紙			51.6	絵9、詞10、絵10					51.8	絵6
23紙			51.5	絵10、詞11					52.1	絵6
24紙			51.6	詞11、絵11					52.2	絵6
25紙			50.9	絵11					33.3	絵6
26紙			49.8	絵11					45.2	奥書
27紙									15.9	奥書
28紙										
29紙										
30紙										
計	816.6		1329.5		953.0		986.7		1323.1	



卷十六 高野山臨幸

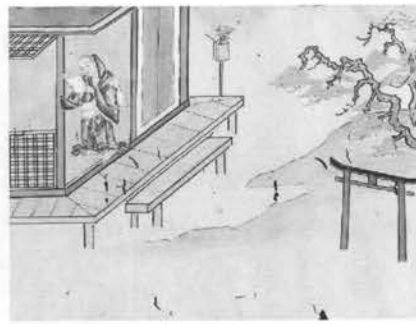


卷十五 大塔修造

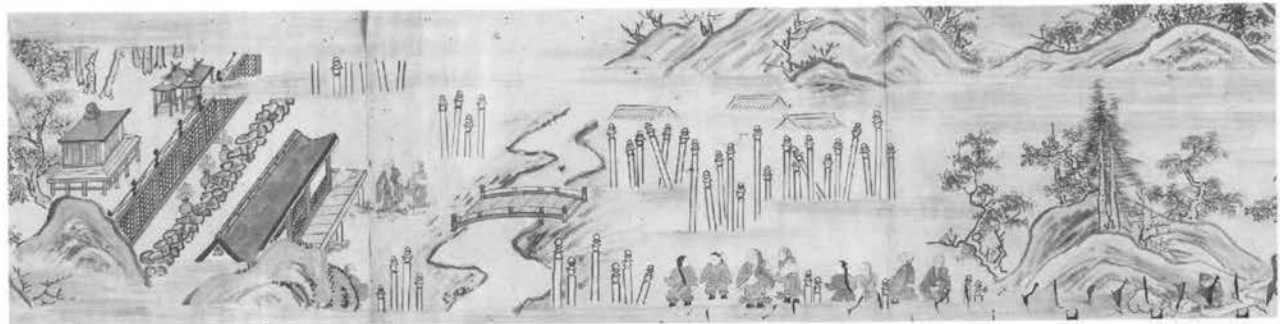




卷十三 遺跡影向



卷十四 博陸參詣



卷一 輿書

卷一 輿書  
 永正三年九月廿二日  
 出羽國山形縣麻里郡高野寺住持  
 高野寺住持 高野寺住持 高野寺住持  
 文正八年八月廿七日 又次文正  
 本願寺住持 高野寺住持

卷四 輿書

卷四 輿書  
 高野寺住持 高野寺住持 高野寺住持  
 永正三年九月廿二日  
 出羽國山形縣麻里郡高野寺住持  
 高野寺住持 高野寺住持 高野寺住持  
 文正八年八月廿七日 又次文正  
 本願寺住持 高野寺住持

卷十 輿書

卷十 輿書  
 出羽國山形縣麻里郡高野寺住持  
 高野寺住持 高野寺住持 高野寺住持  
 文正八年八月廿七日 又次文正  
 本願寺住持 高野寺住持

卷八 一 神泉苑事



卷八 二 守敏降伏事



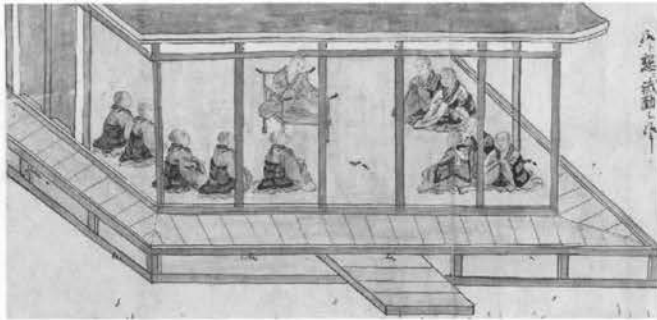
卷八 五 對治疫鬼



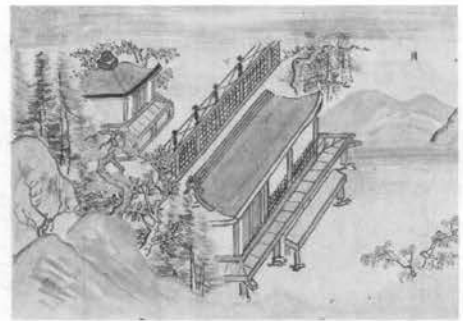
卷八 六 惠果救療



卷九 二 門徒雅訓事



卷九 三 入定留身事



卷九 四 嵯峨喪禮事



卷九 五 贈官位事



卷十一 一 住吉同寐



卷十一 二 幅慶夢想



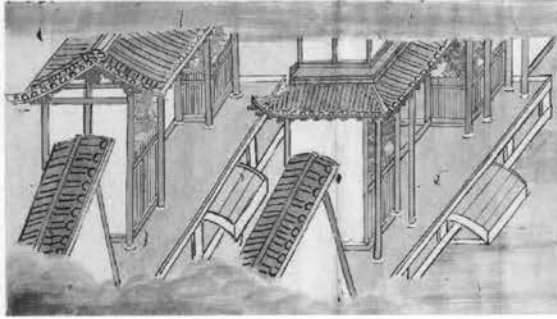
卷七十一 東寺勅給



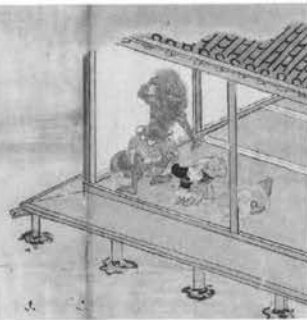
卷八十四 二間修法



卷八十三 仁王經法事



卷八十七 皇嘉門額



卷九十一 後七日法事



卷九十六 慈覺靈夢



卷九十七 大師号事







卷六十一 日想観



卷六十 知牛語



卷七十三 丹生詫宣事



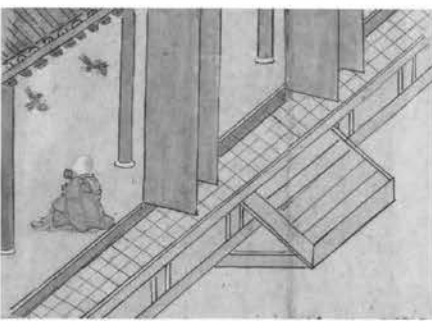
卷七十二 巡見上表事



卷七十一 高野尋入事



卷七十六 大塔建立事



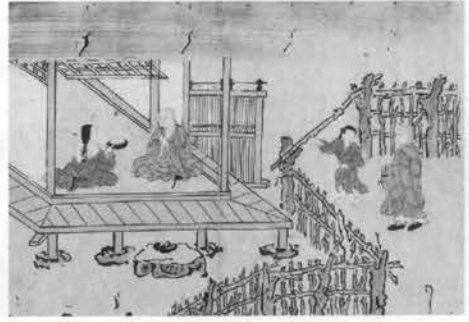
卷七十 東大寺蜂



卷七十九 皇帝受法



卷六一七 天地合三字



卷六一八 大峯修行事



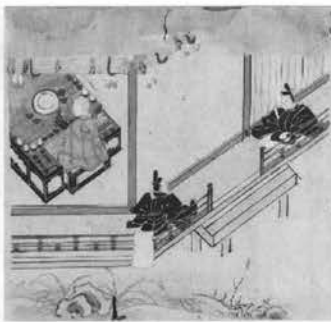
卷六一九 小兒活生



卷六一十二 龍泉涌水



卷七一四 皇帝御祈



卷七一一五 三鈿寶釵事



卷七一七 秘鍵開題事



卷七一八 權者自稱事



卷三一九 着岸上表



卷四一二 賀春山生木



卷四一 歸朝上表事



卷四一六 横尾寺



卷六一一 惠日寺草創事



卷六一六 生朽木



卷六一五 善通寺額

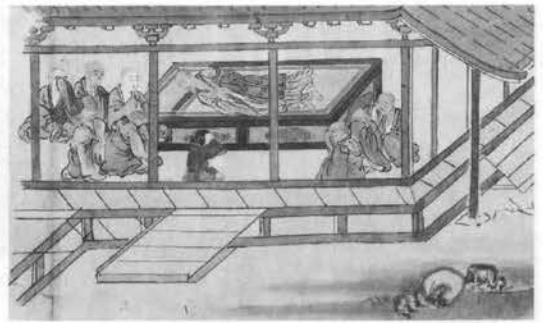




卷三—八 大師擲三鈷事



卷三—七 惠果影現事



卷四—五 宗論事



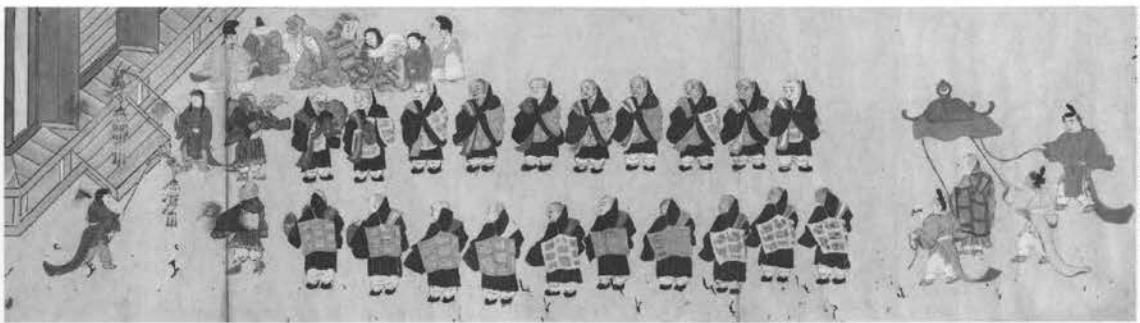
卷四—四 大師上官御廟參詣事



卷四—三 救火災



卷四—八 隔河書額



卷四—七 高雄灌頂事



卷六—四 鈿御山



卷六—三 釋迦如来出現



卷六—二 靈山寺結界事



卷二一六 入唐着岸事



卷二一八 五筆和尚事



卷三一 渡天礼拝釋尊事



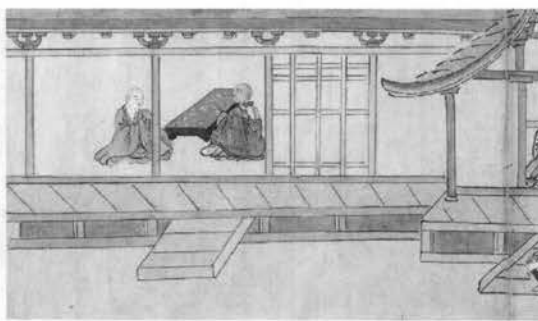
卷三二 大師御入壇事



卷三六 惠果御入滅事

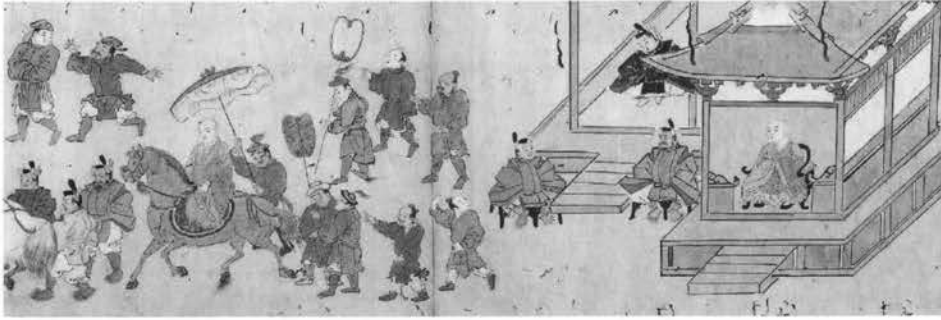


卷三五 道具相承之事





卷二一五 大師御入唐事



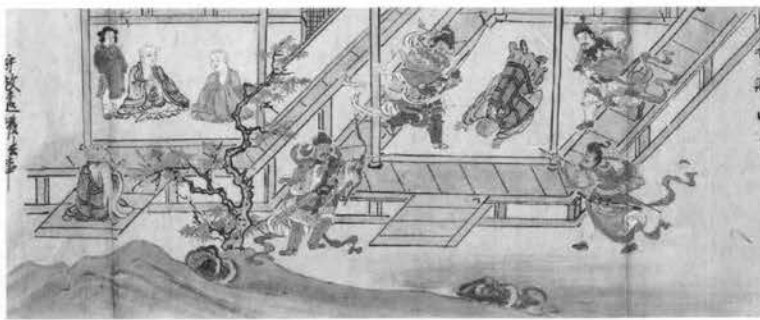
卷二一七 入唐入洛事



卷二一九 虚空書字事



卷三二四 守敏遣護法事



卷三二三 珠賀怨念事





卷一—三 四天執蓋事



卷一—二 幼稚遊戲事



卷一—六 聞持受法事



卷一—十 出家受戒事



卷一—九 桂谷降魔



卷二—一 天狗問答事



卷二—四 渡海祈願



宝集寺藏

「高野大師行状図画」

卷一一 誕生事



卷一四 誓願捨身事



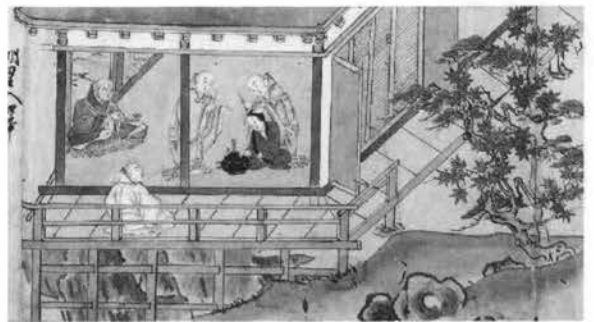
卷一五 明敏篤學事



卷一七 大瀧嶽事



卷一八 伏悪龍



卷一一一 明星入口事



卷一二二 久米寺東塔  
心柱事

